

北川の通信

2011年12月24日

vol.91

冬眠したいなあ
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

北川のオオフサモのその後



10月15日（土）の午後、北川に生育する特定外来生物「オオフサモ」の駆除を行いました。去る10月13日（木）に市で試験的に重曹をまき、オオフサモの地上部が枯れた状態になりました。15日（土）は、その枯れた部分の地下や水中部分の根を駆除しました（多摩湖町内の一部区間のみ実施）。

5月の駆除の時と比べ、ちぎれた地上部の茎や葉が流出することもなく、重曹を用いた駆除方法は効果的であると思いました。オオフサモの地上部は重曹により枯れていても地下茎の部分は青々している部分が多く、重曹を使用後に地下や水中の部分を駆除していく方法がベターであると感じました。しかし、けっこう力仕事で疲れました。

その後、10月末頃に実施された北川の草刈り（市が実施）で、北川全体に繁殖するオオフサモの地上部も併せて刈られました（地下茎の部分は残っている）。12月月月初旬現在、草刈りで、所々に刈り残された部分（あるいは水中に残された部分）から再度、オオフサモが繁殖しはじめ



ている様子がかえりました。オオフサモはなかなか手強い相手のようです。今後も様子を見ながら、駆除作業を行っていく必要があります。1月21日（土）には、オオフサモの状況を確認する場を設けたいと思いますので、多数の方の参加をお願いします。

再度、オオフサモが繁殖

仮称「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」 作成中

北川かっぱの会では、八国山たいけんの里自然部会の全面的な協力のもと、標記ガイドの編集を行っています。

このガイドは、東京ガス環境おうえん基金の助成金を活用して作成するもので、体裁はA2サイズ、両面カラー印刷8つ折りで、これまで撮りためた写真を中心に、現在の八国山や北山公園で見ることのできる昆虫、鳥類、両生類、魚類（北川）、植物（花、樹木、キノコ）などを掲載する予定です。さらに、雑木林の生態・維持管理の実際、湿地の生態、絶滅危惧種・希少種、特定外来生物、食べられる実、雑木林での遊びなどについても掲載していく予定です。

利用の対象としては小学生や一般市民などを想定し、主に小学校の環境学習や市民向けの自然観察会（たいけんの里自然部会の観察会も含む）などで利用していく予定です。

ガイドの完成は3月末を予定していますが、将来、掲載した生き物の多くが流域より姿を消してしまった、というようなことがないようにしていかなければならないと思います。このガイドが北川流域の自然を保護、復元していくことに少しでも役立てば幸いです。



報告 「八国山緑地懇談会」に参加しました



11月3日（祝）、八国山緑地懇談会（主催；西武・狭山丘陵パートナーズ）が開催され、北川かっぱの会からは3名が参加しました。

八国山緑地懇談会は、八国山緑地の管理・運営のあり方について意見交換を行い、実際の管理・運営に反映させていくために開催さ

れているもので、今回で3回目となります。

当日の懇談会では、東京都や東村山市、市民団体、一般市民の方、主催団体から合計約30名で見学、意見交換等を行いました。今回は、昨年の懇談会で検討した八国山緑地の内外を廻る「自然、歴史、人をつなげる里の道」コース案をベースに、八国山緑地を初めて訪れた人向けのルートを選定と、マップづくりを中心に検討しました。

午前の部では、主催者が提案する緑地内のコースをなぞって歩きました。いろいろな方から様々な情報提供があり、とても興味深い見学会でした。

午後の部はマップづくりのワークショップを中心に開催されました。参加者がルート案や八国山緑地についてマップ作成という観点から思うこと、考えたことを出し合い、全体の意見を集約していきました。全般的には、いかに八国山のよさを知ってもらうか、楽しく遊ぶことができるか、の視点からマップ原案をまとめることができたのではないかと思います。

今回の懇談会も、全般的には、行政、管理者、市民団体の垣根がとてつもない状態で意見交換を行うことができた点がよかったと思います。

昨年、八国山と北山公園が関東・水と緑のネットワーク拠点百選で選定されたこともあります。北川かっぱの会としては北山公園と一体の八国山緑地の環境保全を推進していくため、今後も八国山緑地懇談会に積極的に参加していこうと考えています。



コウヤボウキ

夢の北川鮎釣り

毎年、北川の下流部の柳瀬川には無数の鮎が遡上しています。あまり知られていないようですが、清瀬市内の柳瀬川では、多くのご近所釣り師がサンダル履きの気軽な鮎釣りを楽しんでいます。

新河岸川との合流点では、砂質の川底ですが、その水質の良さを選んでか遡上魚がのぼってきます。遡上魚（海から川へ上って来る魚）は、鮎の他、マルタウグイ、ボラ、モクズカニなどを見かけます。まさに生きている川の証しですね！そこで、今年の9月に僕も、柳瀬川での鮎釣りに挑戦してみました。鮎釣りは囀鮎を使った友釣りが有名ですが、ここでは疑似針を使った釣りでやってみました。結果は写真の通り。楽しめました。

この柳瀬川は、数か所の落差工などの障害物がありますが、少しずつ魚の遡上の為に改善されているようで、増水時を利用して魚達は川をさかのぼっているのが観察できます。僕はまだ確認していませんが、この川の上流にあたる東村山市内の北川にまで鮎はのぼってきているのでしょうか？いつかは東村山市内でも、沢山の鮎がみられる日が来るのが楽しみです！(中谷)



内でも、沢山の鮎がみられる日が来るのが楽しみです！(中谷)



10月16日（日曜日）秋のクリーンアップを実施いたしました。当日は、爽やかな快晴に恵まれました。今回も、北川上流部2か所、北山小学校、精心幼稚園近くの4箇所に分かれて実施いたしました。

精心幼稚園前には、周辺自治会の呼び掛けで、過去最大の人数でした。上流、下流含めて50～60名の参加があったようです。前日、雨が降ったせいもあり、川は比較的澄んでいました。

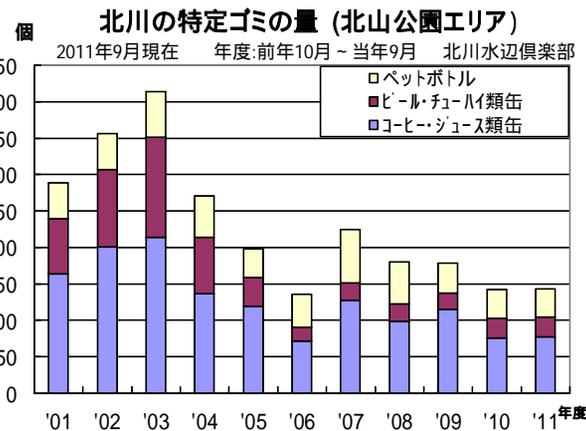
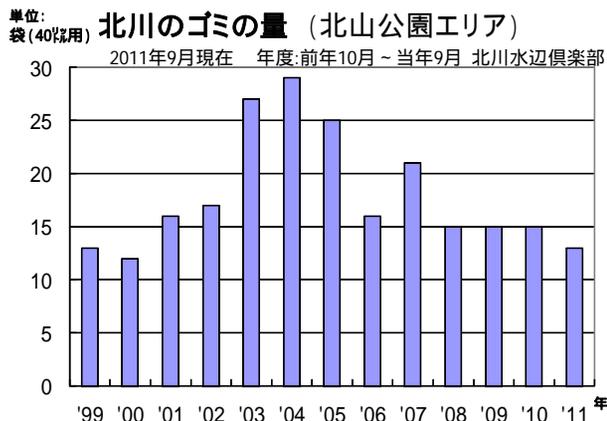
前川と北川の合流点は、例年粗大ゴミが多い場所ですが、今回は、大物はありませんでした。下流部分は、全面草刈してあり、ゴミは拾いやすいのですが、魚の隠れ家がないのが心配でした。特定外来種のオオフサモはところどころに小さな集落を作っていました。上流の群落を駆逐しないと下流でいくら駆除しても焼け石に水です。

下流のごみについては、折り畳みの自転車が一番の大物でした。上流は、特に大物のゴミはなかったようです。下流のごみの特徴は、単体が多く、上流のようにまとめてポイはありませんでした。通りすがりの人があまりいないのかもしれませんが。

今回も全体で粗大ごみはそれほど多くなくトラック2台分でした。参加いただいた皆さんご苦労様でした。

北川のゴミの量の推移

北川かっぱの会では、毎月第2土曜日に川そうじを実施しています。このほど2011年度のゴミの量の計測結果（10月～9月）がまとまりました。ゴミの量は2004年度をピークに減少しているものの、ここ数年は大幅に減少するような傾向にはありません。今後も粘り強く川そうじを継続し、北川の「ゴミ0」を目指したいと考えています。（データ集計：松村）



報告 かつばウォークで 秋の八国山を散策しました



11月5日（土）、八国山たいけんの里自然部会の皆さんの案内で、たいけんの里「ハッチコックメイト」の方々、北川かつばの会のメンバーなど合計10名で秋の八国山を楽しみました。

今回のテーマは「キノコの観察」。キノコに精通しているガイドの方から、足もとのふだん気がつかない土や落ち葉、倒木の中からキノコを探し出すというものでした。

キノコは食用や毒キノコというイメージがあっとなかなか取っつきにくいものですが、その生態はまさに様々、キノコの役割や生態系への展開など話は深く発展していきました。

キノコ類の生態の話の中から改めて自然の関係性と深さを感じることができた観察会となりました。（遊星歯車）

かつば通信外伝 北海道だより

この春から札幌で生活している会員です。近郊は自然がいっぱいで、採集・狩"漁"生活を満喫するはずだったのですが、これがなかなか…。 春よ 来い 早く 来い です。

さて、通勤路にある豊平川には、人口150万を超える都市を流れる川としては世界でも珍しく、たくさん鮭が上って来ます。水質汚染や河川改修など環境の変化により、鮭は昭和28年を最後に遡上しなくなっていました。「再び豊平川に鮭を呼び戻そう」という一人の市民の呼びかけから大きな市民運動の流れができ、河川敷の清掃など積極的な活動を経て、昭和54年春先に100万尾の稚魚が放流された結果、翌々年約30年ぶりに1500尾もの鮭が戻ってきました。さらに57年には地元の小学校の生徒による当時の首相への直訴がきっかけとなって豊平川に設置されている堰堤に魚道が付けられました。加えて各方面の努力もあり、鮭は

シシャ
モ刺し
身



毎年のように遡上するようになり
ました。草の根の市民運動として
始まった鮭回帰の運動は市民の中
に川をきれいにするという意識を
も芽生えさせ、自然豊かな札幌市
の財産となっています。(チシマザ
クラ)

写真集「東京の里山・狭山丘陵 の四季」のご紹介

本書は東村山、東大和、武蔵村
山、所沢などにまたがる狭山丘陵
にスポットをあてた写真集である。

ページをめくるごとに会う風
景は見たことのある場所なのに、
何故こんなに多様な美しさがある
のだろうと、感動がわきあがる。

2012年 1月～3月

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時
1/14,2/11,3/10(土) 集合：北山小
正門前

北川のおオフサモ調査

1/21(土)14-15時頃 集合；縄文
宅部橋(雨天中止 プログに掲載)
北川に繁殖しているオオフサモを
観察し、今後の対応策について検
討します。

富士見・南台小 野鳥観察会

1/7(土)東村山中央公園、空堀川
周辺

多摩湖緑地・廻田緑道の散策・観察会
(原風景を守る会主催)

1/8(日)11～13時 多摩湖緑地の
保全策について考えます。集合；
多摩湖町自治会集会所 13時～昼
食・交流会(会費あり)

東村山市みどりの楽校 野鳥観察会



それは作家の広瀬さんのこどもの
頃から遊んだ自然への愛着とそれ
を伝えたいという情熱が伝わるか
らだろうか。

東村山の自然も捨てたもんじゃ
ないと、感心する一冊である。

活動スケジュール

2/12(日) 八国山緑地 集合；西
武園駅

詳細は1/15付け市報に掲載予定

北山公園整備計画意見交換会
(通称「川端会議」)

2/4(土)10～12時 ふるさと歴史
館。北山公園周辺の環境整備につ
いて、市、市民、市民団体の話し
合いの場。どなたでも参加できます。

かっぱ定例会

1/21(土) 15-17:30頃(茫々亭)
2012年の活動方針と4月頃までの
活動予定について検討します。誰
でも参加可能です。

かっぱ新年会

1/21(土)17:30頃～(茫々亭)
新年会のみ参加も大歓迎です。

かっぱ総会

2月下旬～3月上旬予定。詳細次号

インフォメーション

会費納入のお願い

かっぱ通信の印刷、郵送費（マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む）や夏まつりの消耗品などの経常的な経費は、皆様からの会費を基に活動を行なっています（企業等からの助成金は、経常的な経費への支出は原則として認められない）。

最低限の活動を行なっていくためにも、1月上旬までに会費（年間3000円）の振込をお願いいたします。今回、2011年度の会費未納付の方には「振込用紙」を送付させていただいております（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会 会議日程

定例会 1月21日(土) 15~17:30
茫々亭

2012年の活動方針と4月頃までの活動予定について検討します。

編集後記

T P Pの論議が始まった。反対の声は農業への打撃という。小規模山間地の農業はやっていけるのか。大規模化、独自性で日本の農業は差別化できるという声も聞くが。かつて林業が貿易自由化で太刀打ちできなくなり山が荒れた。日本の里山は守れるのか。治山治水、生物多様性、景観、壊してから戻すのは困難だが。（遊星歯車）

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

会費 年間3000円

「かっぱ通信」（年5回）をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店(普) 3605694〕



加入者名 北川かっぱの会

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップ - 未来の川へ - 』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺